

## トピック まなづるの海

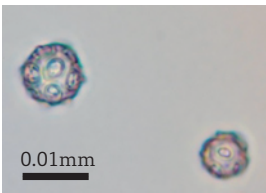
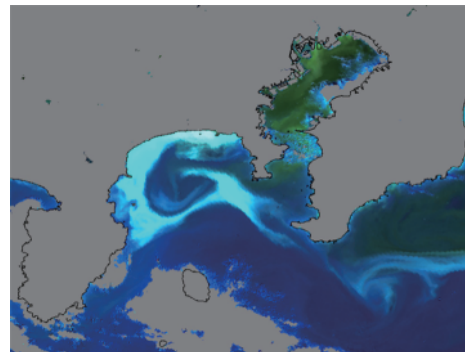
### 相模湾初観測!? 「白潮」発生



白潮の影響により明るいブルーに見える真鶴の海(右:2020年5月15日撮影)、普段の真鶴の海(左:2018年9月撮影)

5月の上旬ごろから中旬にかけて、相模湾や真鶴でも海の色が明るくなり、一見すると南の国の海のようになりました。真鶴町内でもお気づきの方が多かったようです。

これは「白潮」と呼ばれ、円石藻(えんせきそう)という植物プランクトンの大増殖により海が白く濁ったものでした。円石藻は、殻に円盤状の構造をもっていることがその名の由来になっていますが、殻は炭酸カルシウムできていて白いので、大増殖すると、海の色が白っぽく見えるようになるのです。直径が0.01mm以下の大変小さなプランクトンですが、その大増殖の様子は、なんと人工衛星により宇宙からも捉えられており、今回の白潮の発生も(国研)宇宙航空研究開発機構(JAXA)の気候変動観測衛星「しきさい」の観測により明らかになりました。



左:「しきさい」の衛星写真に映る相模湾の白潮(5月17日撮影:JAXA 村上浩博士提供)、上:真鶴沖で採集された円石藻 *Gephyrocapsa oceanica* (横浜国立大学 下出教授 提供)

白潮は、大西洋やベーリング海で発生することが知られていますが、日本周辺の海では大変珍しく、1995年から真鶴沖で毎月調査を行なっている横浜国立大学臨海環境センター(真鶴町岩)の下出教授によると、白潮が観測されたのは真鶴では初めてのことでした。そのため、多くの研究者から問い合わせや調査の希望が相次ぎ、本来なら大規模調査が実施されるところでしたが、今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、少人数での調査となりました。ディスカバーブルーも調査に同行し、調査船により真鶴沖のプランクトンを採集したほか、水温や塩分などの海洋環境についてデータを取りました。採取した試料は、専門の研究者に送られ解析が進められるとのことで、今後の研究の進展に注目です。

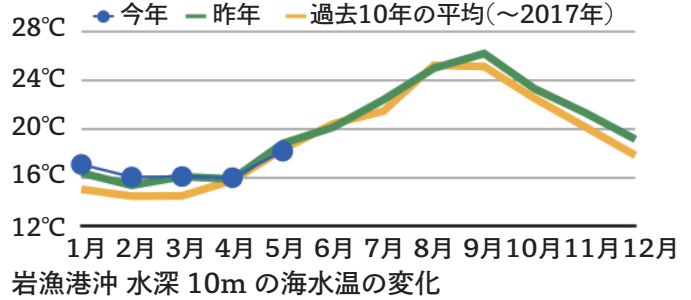
## 真鶴の海況

### 海水温、今シーズンの最低値

5月の真鶴沖の海水温は、4月より2°C以上高くなり、18.2°Cとなりました。昨年9月に26.2°Cと昨シーズンの最高水温となった後は下がり続けていましたが、5月になり大幅に上昇しました。相模湾における一年間の水温の変動は、概ね9月に最も温かく、2~3月に最も低くなるのが分かっており、今年も例年通りの季節に

よる変化が見られました。

しかしながら、昨年9月から今年の3月までは、例年より海水温がやや高い傾向が続いていました。冬の海水温が下がらないと、ワカメなどの海藻の成長が悪くなるほか、黒潮に乗って南からやってくる季節来遊魚が越冬できるようになり、暖かい地域の生物が増えるなどの影響が出る可能性があります。(情報提供:横浜国大臨海環境センター)



## まなづるの漁獲情報

### 盛漁期の5月、今年水揚げ少なめ



アオリイカ

水揚げされる魚の種類や量は、季節によって変化します。春はたくさんの魚が水揚げされる盛漁期なのですが、今年は4月の終わり頃から、真鶴だけでなく小田原も含め、相模湾全体で漁獲量が少なくなっているようです。例年なら5月頃はサワラやアジ、ワササ(ブリのこども)などが多く水揚げされていますが、今年はそれらはほとんど獲れていません。

今回ご紹介するアオリイカは、初夏になると卵を産み付ける場所を探して海藻のある場所に集まってくるため、定置網でも水揚げされるようになります。しかし、こちらも今年は、岩漁協では水揚げが少しあるものの、真鶴町漁協の定置網では見られないようです。イカの中でも高級品として人気があるアオリイカは、お刺身で美味しくいただきました。<情報提供:真鶴町漁協>

## 町立遠藤貝類博物館 6~7月のイベントスケジュール

町立遠藤貝類博物館は、緊急事態宣言を受け休館中です(6/1現在)。開館およびイベントの開催についての最新の情報は、ホームページにてご確認ください。

- 6月20日(土) 海のミュージアム「磯の生物観察会/海の自然実感教室」  
三ツ石海岸・町立遠藤貝類博物館【有料、要予約】
- 7月4日(土) 海のミュージアム「磯の生物観察会/海の自然実感教室」  
三ツ石海岸・町立遠藤貝類博物館【有料、要予約】
- 7月19日(日) 海のミュージアム「磯の生物観察会/海の自然実感教室」  
三ツ石海岸・町立遠藤貝類博物館【有料、要予約】
- 7月25日(土) 海のミュージアム「磯の生物観察会」  
三ツ石海岸・町立遠藤貝類博物館【有料、要予約】

【開催中~6/23迄】写真展「知られざる 真鶴の海 2020」  
町立遠藤貝類博物館、【要入館料、真鶴・湯河原町民無料】

※各イベントの詳細は、町立遠藤貝類博物館 HP または各ちらしをご覧ください。

まなづる 海の月報は、町立遠藤貝類博物館 HP からダウンロード  
ができます。プリントしていただいでるの掲示・配布歓迎です。

